

みずほCustomer Desk Report 2024/12/30号(As of 2024/12/27)

金融市場部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	158.18
TKY 9:00AM	157.79	1.0422	164.49	GBP/USD	AUD/USD
SYD-NY High	157.96	1.0444	164.80	1.2529	0.6223
SYD-NY Low	157.35	1.0406	164.11	1.2592	0.6226
NY 5:00 PM	157.84	1.0433	164.67	1.2506	0.6201
	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	42,992.21	▲ 333.59	日本2年債	0.6000%	0.0100%
NASDAQ	19,722.03	▲ 298.33	日本10年債	1.1000%	0.0100%
S&P	5,970.84	▲ 66.75	米国2年債	4.3283%	▲0.0031%
日経平均	40,281.16	713.10	米国5年債	4.4631%	0.0282%
TOPIX	2,801.68	34.90	米国10年債	4.6294%	0.0456%
シカゴ日経先物	40,220.00	420.00	独10年債	2.3895%	0.0690%
ロンドンFT	8,149.78	12.79	英10年債	4.6260%	0.0320%
DAX	19,984.32	135.55	豪10年債	4.3840%	▲0.0650%
ハンセン指数	20,090.46	▲ 7.83	USDJPY 1M Vol	10.57%	▲0.11%
上海総合	3,400.14	2.07	USDJPY 3M Vol	10.82%	▲0.13%
NY金	2,631.90	▲ 22.00	USDJPY 6M Vol	10.77%	▲0.10%
WTI	70.60	0.98	USDJPY 1M 25RR	▲1.19%	Yen Call Over
CRB指数	291.52	0.12	EURJPY 3M Vol	10.91%	▲0.13%
ドルインデックス	108.00	▲ 0.13	EURJPY 6M Vol	10.86%	▲0.09%

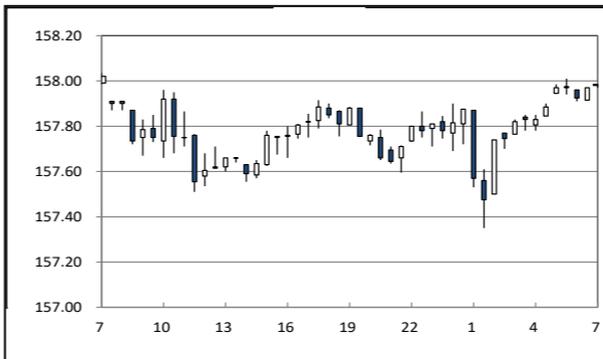
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
12月27日	08:30	日 失業率	11月 2.5%	2.5%
	08:30	日 東京CPI/コアCPI/コアコアCPI	12月 3%/2.4%/1.8%	2.9%/2.5%/1.9%
	08:50	日 日銀金融政策決定会合 主な意見	「米国経済の不確実性が一巡するのを今しばらく注視する辛抱強さも必要」	
	08:50	日 鉱工業生産・速報(前月比/前年比)	11月 -2.3%/-2.8%	-3.5%/-3.2%
	22:30	米 卸売在庫(前月比)・速報	11月 -0.2%	0.1%

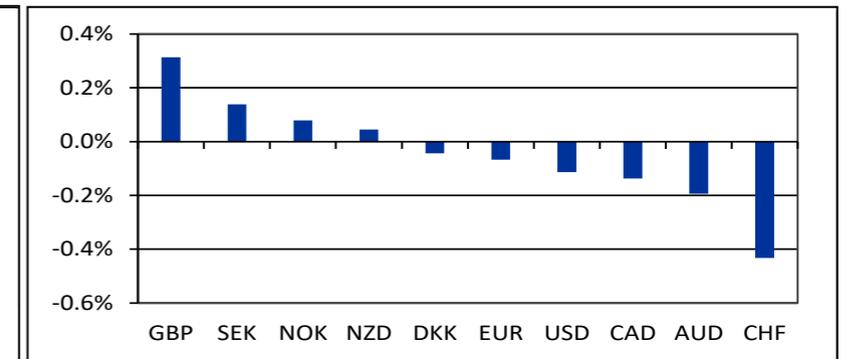
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
12月31日	00:00	米 中古住宅販売仮契約(前月比)	11月 0.8%	2.0%
	10:30	中 製造業PMI	12月 50.3	50.3
	10:30	中 非製造業PMI	12月 50.2	50

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	157.30-158.30	1.0400-1.0450	164.10-165.10

【マーケット・インプレッション】

ドル円の本年1月から12月までの1年を通じた平均値は、前年に比べて約10円程度円安水準であった。日銀の利上げとFEDの利下げが実施された本年でさえ円安トレンドが転換することはなかった。来年の相場については、第2次トランプ政権スタートや米国の経済環境考慮すると、FEDの利下げサイクルの加速は考えにくい。また、植田日銀総裁の利上げに対する慎重なスタンスは大きく変わることはないと思料。したがって、年初はドル高円安の地合いからスタートするものと想定する。

東京	東京時間のドル円は157.79レベルでオープン。ドル買いの需要が強く仲値付近で157.96まで上昇したが、加藤財務相の円安けん制発言もあり157.51まで下落した。その後は右肩上がりにより上昇する展開が続き、結局157.75レベルで海外時間へ渡った。
ロンドン	本日も長いクリスマス休暇に入っている市場参加が多く全般的に静かな一日となった。ドル円は157.75レベルで始まった。157円台後半で推移し昨日試した5か月ぶりの高値158円は突破できず、157.80レベルでニューヨークへ渡った。ポンドドルは1.2523レベルで始まり、今日の安値1.2506から60ピップス上昇して1.2566の高値まで取引された後、1.2554レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	海外市場のドル円は157円台後半でスタート。先週に行われた日銀金融政策決定会合の「主な意見」が発表されるも、特段新規材料が見当たらなかったことからドル円は反応薄。その後加藤財務相の円安牽制発言を受け、157.51まで下落する場面もあったが、円買いは長く続かず、その後157.80レベルでNYオープン。本日は特段注目の経済指標の発表が無い中、米株安を嫌気した米債買いの流れを受け、米金利の低下に伴った売りから一時157.35まで下落。しかし、その後は米長期金利が低下幅を縮小する動きを受け買い戻され、157.70付近まで戻す神経質な値動き。午後買い戻しの展開が続き、終盤にかけては157.94まで反発し、その後157.84レベルでクローズ。一方、海外市場のユーロドルは1.04台前半でスタート。年末を控え薄商いの中、独金利の上昇を背景とした買いが優勢となり、1.0432レベルでNYオープン。午前中は手掛かりが少なく、1.0430付近を挟んだ狭いレンジ推移が続く。午後は1.0420付近を中心とした動き乏しい推移が続き、1.0433レベルでクローズ。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。